

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	中長期地域エネルギーシステム戦略検討小委員会	主 査 名：吉田 聡 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：宮崎ひろし
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>東日本大震災以降の建物エネルギー負荷の変化や災害時事業継続のための自立分散電源確保ニーズの高まり、気候変動問題の緩和・適応のための低炭素まちづくりの推進等を踏まえ、中長期的に既存の地域冷暖房システムを中心とする地域エネルギーシステムがどのような役割を果たしていくべきか、国が示す地球温暖化対策に係る中長期ロードマップやエネルギー関係技術開発ロードマップを参考に検討を行う。</p> <p>初年度：以下の勉強会を行い、課題を整理する。 ①地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ ②エネルギー関係技術開発ロードマップ ③エネルギー長期受給通し ④地域エネルギーシステム最新事例</p> <p>2年度：以下の勉強会を行い、地域エネルギーシステムの役割、あり方を検討する。 ①将来の地域エネルギー需要 ②まちづくり視点での地域エネルギーシステム ③間接的便益の評価 ④地域エネルギーシステム最新事例</p> <p>3年度：最終取りまとめ</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し 主査：吉田聡（横浜国立大学） 幹事：中島裕輔（工学院大学）、小柳秀光（北海学園大学） 委員：原英嗣（国士舘大学）、下田吉之（大阪大学）、村上公哉（芝浦工業大学）、湯浅和博（東京工業大学）、吉田友紀子（アール・アイ・エー）、増田幸宏（芝浦工業大学）、田中英紀（名古屋大学）、堀英祐（近畿大学）、水潤亨（清水建設）、島潔（大林組）、國友理（東京ガス）、山川智（日本ファシリティソリューションズ）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	

<p>大会研究集会</p>	<p>1. (名称) 参加者数 —— 名 (資料名)</p>
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>新型コロナ対応の関係で、今年度の前半は全く活動ができなかったが、これまでの検討結果をもとに、後継の小委員会で検討すべき内容を整理できた。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>初年度は、計画通り</p> <p>①「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ」に関する勉強会（国立環境研究所増井氏）を行った。</p> <p>②「エネルギー関係中長期技術開発ロードマップ」に関する勉強会（NEDO 矢部氏）を行った。</p> <p>③ 先進的事例調査「豊洲スマートエネルギーセンター」見学を行った。</p> <p>2年目は、</p> <p>① 将来の地域エネルギー需要に関して d4PDF データを用いて検討した。</p> <p>② 先進的事例調査「田町駅東口北地区第2街区」見学を行った。</p> <p>しかし、当初予定していた</p> <p>③ まちづくり視点での地域エネルギーシステムに関する検討</p> <p>④ 地域エネルギーシステムの間接的便益の評価の検討</p> <p>に関しては、現時点で実施できていない。</p> <p>3年目は新型コロナの影響で前半予定していた会議は開催できず、後半に2回の会議を開催して、本小委員会の取りまとめと次期小委員会での検討内容の整理を行った。</p> <p>また、2年度目実施できなかった④に関して、吉田が行った「自立電源導入に関するニーズと追加的コストの受容」に関する調査研究に関して、議論することができた。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。